

viscount

V28 / V30

Operating Manual

安全上のご注意・・・ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

	注 意 感電のおそれがあります。キャビネットを開けないでください。	
警告！感電の危険を避けるため： パネルやカバーは取り外さないでください 本製品を雨または湿気にさらさないでください 本製品内部につきまして、お客様は修理・交換なさないでください。		
修理・点検につきましては販売店にご相談ください		

	本製品の取扱説明書では、重要な操作および修理・点検上の指示に関して、お客様への注意を喚起するため本記号を表示しています。		本製品内部には絶縁されていない「危険な電圧」部分が存在し、感電のおそれがあるため、お客様への注意を喚起するため本記号を表示しています。
---	--	---	---

「火災、感電のおそれ、あるいは人体への危害に関する注意事項」

警告：本製品のご使用にあたっては、以下の点に注意してください。

- 1) 本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みください。
- 2) お子様の近くで使用する場合には、ケガ防止のため十分な注意を払ってください。
- 3) 本製品は水回りでは使用しないでください。例えば浴槽、洗面台、台所の流し付近、濡れた床の上、あるいはプールの近く、その他これに類する場所では使用しないでください。
- 4) 本製品は、単独もしくはアンプ、ヘッドホン、スピーカーと組み合わせて使用した場合、過大な音量により聴力障害を引き起こすおそれがあります。過大な音量、または不快感を招くような音量での長時間の使用は避けてください。
- 5) 本製品は、ラジエーター、熱器具、その他熱を発生する製品から離して設置してください。
- 6) 長時間ご使用にならない場合には、コンセントから電源プラグ抜いてください。
- 7) 本体に物を落としたり、液体が流れ込まないよう十分な注意を払ってください。
- 8) 以下の場合、リース担当者が本製品の修理・点検を行います。
 - a 電源コードまたはプラグが破損した場合
 - b 製品に物が落ちたり、液体が流れ込んだ場合
 - c 製品が雨にさらされた場合
 - d 製品が正常に作動していない、あるいは演奏状態に著しい変化が生じた場合
 - e 製品を落としたり外装が破損した場合

Viscount スピーカー V28/V30 取扱説明書

取扱上の留意点

- ・ スピーカーボックスやコントロール部(つまみ、スイッチ)に過度の力を加えないで下さい。
- ・ 輸送中や使用中に衝撃を与えないで下さい。
- ・ スピーカーボックスを熱源の近く、湿った場所、ほこりっぽい場所、磁気の強い場所等に置かないで下さい。
- ・ ラジオ、テレビ、モニター等の強いノイズを出す機器の近くには置かないで下さい。
- ・ 理由の如何を問わず、本体内に異物を入れたり、液体を架けたりしないで下さい。
- ・ 掃除の際には軟らかなブラシかエア・ジェットだけを使ってください。洗剤、アルコール等は使わないで下さい。
- ・ ソケットからリード線を外す時は、常にコネクター自体を持ってください。線を引っばらないで下さい。
また、束ねるときには縛ったり、ねじれたりしないようにして下さい。
- ・ スピーカーを直射日光にさらさないで下さい。

メイン電源への接続

- ・ 感電の危険を避けるため、濡れた手で接続しないで下さい。
- ・ メイン電源の電圧がスピーカーの裏側の表示と同じであることを確認して下さい。
- ・ スピーカーをアース付きのメイン電源ソケットへ接続して下さい。

オルガンへの接続

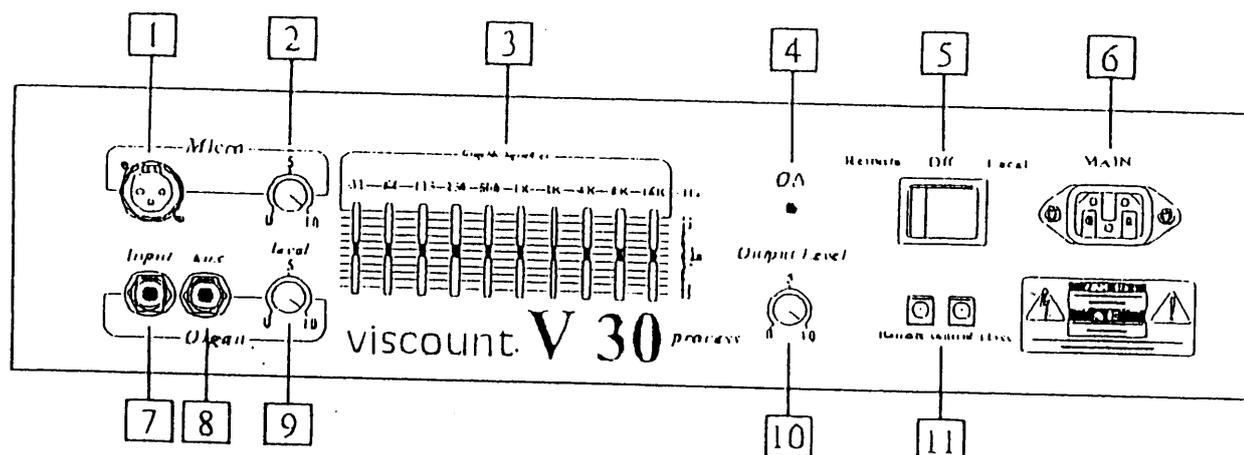
- ・ 常に高品質のシールドケーブルを使って下さい。
- ・ 接続する前に、接続しようとするすべてのスピーカーのスイッチが OFF になっていることを確認して下さい。

V28/V30はチャーチ・オルガンの拡声装置としてVISCOUNTが創ったスピーカーユニットで、
マイクフォン・ジャックもついています。V28/V30は優れた拡声装置であると同時に、頑丈で
ありながらも軽く、また信頼性の高い材料を使っています。その結果V28/V30はいろいろな
使い方が出来るものになっています。

V28/V30はVISCOUNTの仕様による、12"ウーファー×1、4"の中域×2、ツイスター×1を
持ち、その他厳選された、厳しく管理された材料を使っています。V28/V30は常にリニアレス
ポンスを持っていて、最大出力時に歪まない、美しい音を持っています。また接続した楽器の
拡声だけでなく、マイクフォンも使えます。

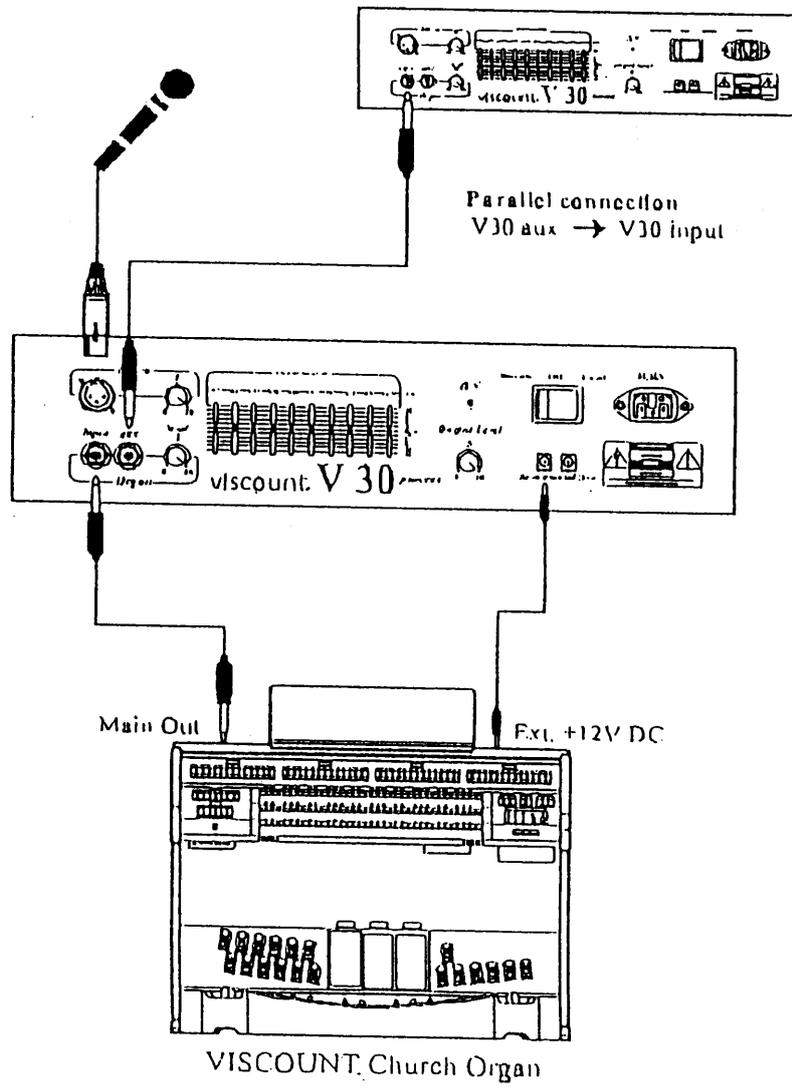
頑丈で、しかも軽い木製キャビネット。よってV28/V30は厳しい条件の下でも高い信頼性が
あります。

制御と結線



1. MICRO コネクター : マイクフォン接続用の XLRコネクター
2. MICRO トリマー : リモート・マイクフォンからの入力ボリュームを調整できます。
3. GRAPHIC EQUALIZER : 10バンドのグラフィック・イコライザーによって、アンプを最適の状態にできます。
4. ON LED : この LED が点灯しているときは、スピーカーが ON になっていることを示しています。
5. REMOTE スイッチ : スピーカーを VISCOUNT オルガンの REMOTE CONTROL 端子に接続したときのスピーカーの ON/OFF スイッチです。
 LOCAL = スピーカーは常に ON
 OFF = スピーカーは常に OFF
 REMOTE = 接続したオルガンの ON/OFF に従います。
6. MAIN コネクター : スピーカーの電源ソケット
7. ORGAN INPUT コネクター : オルガンからのケーブルを接続スルジャック端子
8. ORGAN AUX コネクター : ORGAN INPUT に接続されたオルガンからの信号を別のスピーカー等に出力する。
9. ORGAN LEVEL トリマー : インプット信号のレベルを調整用つまみ。
10. OUTOUT LEVEL トリマー : スピーカーの出力レベル調整用つまみ。
11. REMOTE CONTROL 12vdc コネクター : VISCOUNT オルガンと接続し、スピーカーを ON にする。

接続例



仕様

最大出力(1KHz, THD1%): 210(140W woofer + 70W mid-hi)
ディストーション: <0.1%
インプット インピーダンス: 30K Ω (balanced) - 15K Ω (unbalanced)
インプット センシビリティ: 0dB(0.775V)

電源: 230(120)V.A.C. 50 \div 60Hz

センシビリティ(SPL1W/1M): 94dB
マックス SPL: 118dB
フリークエンシー レスポンス: 20KHz - 20KHz(-10dB)
ディスプレイ: 90 \times 60
クロスオーバーフリークエンシー: 400Hz@12dB/ott. Active
2KHz@6dB/ott

コンポーネンツ: 12"ウーファー \times 1
4"ミッドレンジ \times 2
ツイーター \times 1

制御部: Mic, オルガンボリューム、
10バンドISOグラフィックイコライザー
リモートON/OFF

接続: インプットジャック 1
リンクジャック 1
インプットXLR-F 1

寸法(W x H x D): 501 x 764 x 401

重量: 4.3Kg

viscount[®]
CLASSIC ORGANS

YAMAHA

発売元

ヤマハ株式会社 国内楽器営業本部 施設事業推進室 施設営業プロジェクト

本社	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11(日本生命高輪ビル)	TEL.03-5488-1676
東京	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11(日本生命高輪ビル)	TEL.06-6252-5753
大阪	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)	TEL.052-201-4376
名古屋	〒460-8588 名古屋市中区錦1-13-28	TEL.092-472-2155
九州	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4	

総輸入元

ヤマハミュージックレーディング株式会社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-28-5 蛸薬町下ビル7F TEL.03-5641-1031